



**【特集：音楽情報処理の新展開（音楽情報科学研究会 20 周年記念特集）】**

- 特集「音楽情報処理の新展開（音楽情報科学研究会 20 周年記念特集）」の編集にあたって 後藤真孝 他
- 奄美大島民謡風の歌唱デザインを支援するシステム：グインレゾネータ 森勢将雅 他
- 既存音楽動画の再利用による音楽に合った動画の自動生成システム 平井辰典 他
- 歌詞情報に基づく WEB 画像検索を利用した歌詞連動スライドショー生成システム 石先広海 他
- Robust Multipitch Analyzer against Initialization based on Latent Harmonic Allocation using Overtone Corpus Daichi Sakaue 他
- エネルギー変化の線形予測符号化に基づくリズム特徴量を用いた音楽印象識別 三好真人 他
- 楽譜に基づく鍵盤楽器演奏の統計的モデル化手法 奥村健太 他
- Distance and Similarity of Time-span Trees Satoshi Tojo 他
- 音符を単位としない旋律編集のための旋律概形抽出手法 † 土屋裕一 他
- 多声音楽の旋律スタイルの文法的なモデル化および自動生成 田中 翼 他
- Input-Output HMM Applied to Automatic Arrangement for Guitars Gen Hori 他
- 擦弦楽器の意図表現合成のための奏法モデル 小泉悠馬 他
- 簡易な手書き譜面を利用した演奏システム Gocen の設計 馬場哲晃 他
- Eurydice: 弾き誤り・弾き直し・弾き飛ばしを含む演奏に追従する自動伴奏システム 中村栄太 他
- 楽曲間の類似判断における個性データの収集とその分析 川淵将太 他

**【特集：インタラクションの理解および基盤・応用技術】**

- 特集「インタラクションの理解および基盤・応用技術」の編集にあたって 宮下芳明 他
- Songle: 音楽音響信号理解技術とユーザによる誤り訂正に基づく能動的音楽鑑賞サービス\* 後藤真孝 他
- リアルタイム日本語歌唱鍵盤楽器のための文字入力インターフェースの開発\* 加々見翔太 他
- Possessing Drums: An Interface of Musical Instrument that Assigns Arbitrary Timbres to Personal Belongings\* Kazuhiko Yamamoto 他
- リズム学習を考慮したピアノ演奏学習支援システムの設計と実装\* 竹川佳成 他
- Airstic Drum: 実ドラムと仮想ドラムを統合するためのドラムスティックの構築 菅家浩之 他
- A Music Therapy System for Patients with Dementia who Repeat Stereotypical Utterances Chika Oshima 他
- スポーツの勝敗にまつわるネタバレ防止手法：情報曖昧化の可能性\* 中村聡史 他
- 投影型遠隔コミュニケーションにおけるユーザとアバタの視点の一致\* 石井健太郎 他
- 拡張現実感を利用した食品ボリュームの操作による満腹感の操作\* 鳴海拓志 他
- 虚偽情報フィードバックを用いた生体情報の制御手法\* 中村憲史 他
- 一極型電気味覚付加装置の提案と極性変化による味質変化の検討 中村裕美 他

- MM-Space: 頭部運動の物理的補強表現に基づく会話場再構成\* 大塚和弘 他
- LiveMask: A Telepresence Surrogate System with a Face-Shaped Screen for Supporting Nonverbal Communication\* Kana Misawa 他
- An Object-Defined Remote Robot Control Interface Yusuke Suzuki 他
- 遠隔対話者の身体動作の提示による音声コミュニケーションの円滑化 尾上 聡 他
- コールセンタにおける職場の活発度が生産性に与える影響の定量評価 渡邊純一郎 他
- 運動訓練のための実時間脈波検出と装着型提示デバイスへの応用 下柿元智也 他
- ClippingLight: 投影式ビューファインダとひねりズームによる手軽で素早い撮影手法 上羽優貴 他
- Vinteraction: スマート端末のための振動を利用した情報送信インタラクション 米澤拓郎 他
- ユーザのなぞり動作に基づく動的的文章表示方式 丸谷和史 他
- GUI 上の探索作業におけるナビゲーション・キューの効果 緒方啓史 他
- 磁性ゲル形状ディスプレイの開発とインタラクション手法の検討 中野亜希人 他
- TubTouch: 湯水の影響や自由形状への適用を考慮した浴槽タッチ UI 環境 榊原吉伸 他
- 百人 eye 首：視線と札取り動作の予測に基づくテーブルトップ対戦型百人一首ゲーム 山本倫也 他
- Smart Makeup System: ライフログを用いた化粧支援システム 中川真紀 他

**【一般論文】**

- 手続き型言語におけるデータバインディング機構の提案と構造化設計への適用 † 荻原剛志 他
- 動的配置法によるハイブリッドクラウドの運用管理コスト最小化 江丸裕教 他
- ストレージ自動階層配置機能におけるデータ再配置の最適化 坪 弘明 他
- 無線 LAN を用いた屋内位置推定における学習コスト削減のための高精度データ補間手法\* 久保田僚介 他
- インターネット上の有害情報に対する利用者意識の国際比較調査と考察\* 千葉直子 他
- 経路の特徴を反映した評価値の更新を伴う木探索 芦田昌也 他
- Numerosity Reduction for Resource Constrained Learning Khamisi Kalegele 他
- 統計的機械学習を用いた歴史的資料への濁点付与の自動化 岡 照晃 他
- マイクロブログ検索のための時間情報と非時間情報を統合したクエリ拡張 宮西大樹 他
- A Simplified Plane-Parallel Scattering Model for Rendering Densely Distributed Objects such as Foliage Mikio Shinya 他
- Indexing of Motion Capture Data Using Feature Vectors Derived from Posture Variation † Takeshi Miura 他
- 片手用キーボードによる打鍵間隔を活用した文字入力手法\* 片山拓也 他
- 教師と生徒の InterActor を一人二役で演じるエデュテインメントシステムの開発 山本倫也 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「日本のITとIT人材の発展のために原点から考えよう」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■巻頭コラムの提案に非常に共感を持ち、これからのIT人材の育成には欠かせない評価尺度であると感じた。時間＝コストが可視化しやすい尺度であるため、尺度の変更を図るのは非常に困難と思いますが、試行錯誤を繰り返しOPENな評価ができる仕組みが必要と考えます。

(谷内田尚司)

特集「デジタルファブ리케이션」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■折紙研究について断片的な記事を読んだことがありましたが、全体を俯瞰する内容に現在を一覧して垣間見ることができたように感じた。生物や地球といった自然の造形の意味を考える立場として知的触発を受けた。

(匿名希望)

■特集記事を読んで日本のものづくりの凄さを再認識しました。

(匿名希望)

■「デジタルファブ리케이션」という切り口にはとても興味を惹かれたのですが、少し読み進むと「地から足が離れすぎ」というものが多く残念でした。

(匿名希望)

■パーソナルファブ리케이션は最近話題になっていますが、今回の特集で紹介されたような支援ツールが、どこまで高度なレベル（たとえば職人さんが手作業でこなしているような作業）を実現し得るのかに興味を持ちました。最終的には、初心者も熟練者もレベルに応じてシームレスに支援してくれるツールが出てくるのかな、と思うのですが。

(匿名希望)

■（あくまで個人的にですが）大変面白かったです。執筆のレベルも高かったように思いました。将来的にいろいろな可能性を感じる技術です。

(白井康之)

■パーソナルファブ리케이션に関する実践的な話、たとえばFabLabの話とか、あるいは3Dプリンタのメーカごとの特性や、ここまでできるといった具体的な話をもっと入れてほしかった。

(山崎憲一)

■コンピュータを使うことで、時間をかけ試行錯誤を繰り返さなくとも、適切な製品を素早く造ることが可能になると解釈した。しかし、コンピュータでは処理内容が限られ、思考が限定されるとも考えられるので、柔軟に使えるような組織やシステムへの対応が必要だと思った。

(匿名希望)

■身近な物が工学的に深く考えられていることに驚き、どの記事も非常に興味深く読むことができた。特に、人間では実現が困難な形状等については、今後もその発展に期待したいと思う。

(匿名希望)

■ものづくり日本再生にデジタルファブ리케이션を活用してほしい。もう少し、実際に実用化されている工業商品や輸出品に焦点を当ててほしかった。

(匿名希望)

「4. 形状モデリングのための新しいインタラクション」  
■先進的で興味深い内容だったが、現状の制約や制限などについてももう少し具体的に挙げられていると実用性の度合いが分かってよかった。

(匿名希望)

「5. デジタルデザイン技術を活用した工作と手芸」  
■「糸を通す」「縫う」といったある程度スキルの必要な手芸だけではなく、「切る」「塗る」といった幼児でも可能な工作も紹介されており、気軽にものづくりが楽しめるようである。

(匿名希望)

「6. 折紙ファブ리케이션とコンピューテーション」  
■紙を折るという単純な技が数学の対象になっていたり、工芸や建築などに幅広く応用されていることを知って、折紙に興味を持ちました。

(西尾建男)

「8. パーソナルファブ리케이션時代におけるものづくりのオープンソース化の動向とFab Commonsの提案」  
■パーソナルファブ리케이션について端的にまとめられていて分かりやすくポイントを掴むことができよかった。

(匿名希望)

解説「身近になったライフログ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ライフログの記事を読んで、自分はアナログ生活が性

に合っていることを深く認識しました。(匿名希望)

解説「IT 融合社会」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■医療へのクラウド化をもっと推進してほしい。(匿名希望)

■鷲田他(2009)社会科学技術論文集, 6, 1-15.を対比として読むと面白いです。両者は同じデータベースと手法を用いているようです。私は、シナリオ対象の違い(技術開発問題と社会技術問題), 関係省庁の違いから読み比べてみました。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:工業高等学校における情報教育の取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■自分の勤務先から比較的近隣の工業高校における教育課程の一環を垣間見ることができた点がよかったです。(大塚敬義)

■工業高等学校における情報教育が、現在どのように行われているかきわめてよく理解できた。(水野光朗)

教育コーナー「べた語義:アイルランドの大学におけるコンピューティングサマースクール視察」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「アイルランドの大学におけるコンピューティングサ

マースクール視察」の試みは小学生の子供を持つ親として非常に参考になった。本来ならば、子供の学校の長期休みにあわせて親も仕事を休み、子供の興味に従ってコンピュータを使ったものづくりの面白さを共に体験すべきなのかもしれない。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■情報教育については、すでに何度も取り上げられており、やや食傷気味である。いつも教育を行う立場からの解説が多いが(これは本誌に限らず、さまざまなメディア・雑誌でも同様だと思う)、生徒の側とか別な立場からのコメントや調査結果が見られると面白いと思う。(白井康之)

■泥臭い方のソフトウェア工学, たとえば、既存のソフトウェア資産を使用してのソフトウェア工学をテーマにしてほしい。(五味 弘)

■今後取り上げてほしいテーマ: 電子政府推奨暗号リスト。(匿名希望)

■今後取り上げてほしいテーマ: 公共的な e ラーニング。(西尾建男)

【本欄担当 古宮嘉那子, 加藤 豪 / 書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail : [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



# IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-W.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-W.html</a>	5月6日(月)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-Z.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-Z.html</a>	5月7日(火)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-SE.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-SE.html</a>	5月10日(金)		
	論文誌「Multiagent-based Societal Systems」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-V.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-V.html</a>	6月9日(日)		
	論文誌「情報システムの新展開」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-IS.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-IS.html</a>	8月12日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2013」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-T.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-T.html</a>	9月6日(金)		
4月25日(木)～ 4月26日(金)	第197回計算機アーキテクチャ・第125回システムソフトウェアとオペレーティング・システム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc197os125.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc197os125.html</a>	3月11日(月)	当日のみ	那覇市IT創造館
5月9日(木)～ 5月10日(金)	第61回コンピュータセキュリティ・ 第21回インターネットと運用技術合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec61iot21.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec61iot21.html</a>	3月12日(火)	当日のみ	弘前大学
5月10日(金)	2013年度九州支部年次大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html</a>			JR博多シティ会議室
5月10日(金)	2013年度関西支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html</a>			キャンパスプラザ京都 第3講義室
5月11日(土)	第98回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch98.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch98.html</a>	3月18日(月)	当日のみ	大谷大学 (京都市北区)
5月11日(土)～ 5月12日(日)	第99回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus99.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus99.html</a>	3月18日(月)	当日のみ	お茶の水女子大学
5月16日(木)	第161回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm161.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm161.html</a>	3月7日(木)	当日のみ	北九州国際会議場
5月16日(木)	第60回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip60.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip60.html</a>	3月8日(金)	当日のみ	情報セキュリティ 大学院大学
5月16日(木)～ 5月17日(金)	第38回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi38.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi38.html</a>	3月11日(月)	当日のみ	熊本大学
5月16日(木)～ 5月17日(金)	第88回グループウェアとネットワークサービス・ 第5回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn88spt5.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn88spt5.html</a>	3月11日(月)	当日のみ	首都圏近郊 (詳細は未定)
5月17日(金)～ 5月18日(土)	第28回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec28.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec28.html</a>	3月11日(月)	当日のみ	大阪大学
5月17日(金)～ 5月18日(土)	第144回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al144.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al144.html</a>	3月22日(金)	当日のみ	小樽商科大学
5月22日(水)～ 5月24日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACIS2013) <a href="http://sacsis.hpcc.jp/2013/">http://sacsis.hpcc.jp/2013/</a>			仙台国際センター
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第155回マルチメディア通信と分散処理・ 第66回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps155mbl66.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps155mbl66.html</a>	3月14日(木)	当日のみ	石垣市民会館 中ホール
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第211回自然言語処理・第96回音声言語情報処理合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl211slp96.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl211slp96.html</a>	3月23日(土)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院 院大学東京サテライト
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第7回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds7.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds7.html</a>	3月29日(金)	当日のみ	同志社大学 東京オフィス
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第93回数値モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps93.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps93.html</a>	3月28日(木)	当日のみ	北海道大学 百年記念会館
5月23日(木)～ 5月24日(金)	第153回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci153.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci153.html</a>	4月5日(金)	当日のみ	国士舘大学 世田谷キャンパス
5月27日(月)	東海支部設立30周年記念行事 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>			ホテルルブラ王山 (名古屋市)
5月27日(月)	2013年度東海支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html</a>			ホテルルブラ王山 (名古屋市)
5月27日(月)～ 5月28日(火)	第180回ソフトウェア工学・第29回組込みシステム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se180emb29.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se180emb29.html</a>	4月4日(木)	当日のみ	東京大学 向ヶ丘 ファカルティハウス
5月29日(水)	第139回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc139.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc139.html</a>	3月28日(木)	当日のみ	東京大学 柏キャンパス
5月30日(木)～ 5月31日(金)	第187回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim187.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim187.html</a>	3月8日(金)	当日のみ	東京農工大学
6月3日(月)～ 6月4日(火)	第94回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro94.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro94.html</a>	4月12日(金)	当日のみ	アルヴェ 秋田市民交流 プラザ
6月14日(金)	2013年度四国支部報告会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2012.html</a>			香川大学 林町キャンパス
6月24日(月)	第151回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg151.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg151.html</a>	4月26日(金)	当日のみ	リンクステーションホール 青森(青森市文化会館)
6月27日(木)～ 6月28日(金)	第34回バイオ情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio34.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio34.html</a>	4月10日(水)	当日のみ	沖縄科学技術大学院 大学メインキャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月18日(木)～ 7月19日(金)	第62回コンピュータセキュリティ・ 第6回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec62spt6.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec62spt6.html</a>	5月10日(金)	当日のみ	札幌コンベンション センター
8月31日(土)～ 9月2日(月)	第100回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html</a>		当日のみ	東京大学
9月4日(水)～ 9月6日(金)	FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/</a>			鳥取大学 鳥取キャンパス
12月20日(金)～ 12月22日(日)	第101回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html</a>		当日のみ	九州大学

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

#### [トピックス]

- 3月21日 newPRMS を Ver.7.1 (20130318) にバージョンアップしました
- 3月15日 人材募集情報 (Vol.54 No.4)
- 3月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.54 No.4)
- 3月13日 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律案 (番号法案)」に対する声明
- 3月07日 論文誌「Multiagent-based Societal Systems」特集 論文募集
- 2月27日 [プレスリリース] 2012 年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式

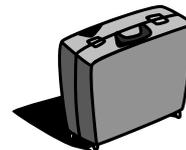
## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
  - a) 書 評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
  - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

### 2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



### 3. 応募の手続き

- 1) 表 題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBN を書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先 (住所、E-mail, Fax など) の記載を忘れずに。
- 3) 本 文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆のご案内 / 書評・会議レポート」  
(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>) を参照してください。

### 4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp)

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ( )

賛助会員以外の企業 52,500 円 ( )

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

**\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

### ■首都大学東京大学院システムデザイン研究科

募集人員 助教 1名

所 属 情報通信システム学域

専門分野 計算機工学

担当予定科目 情報通信工学の実験・演習およびプログラム実習など

応募資格 博士の学位を持つ方, もしくは採用年月日までに取得見込みの方

着任時期 2013年9月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 2013年5月24日 (必着)

送付先 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 公立大学法人首都大学東京 総務部人事課人事制度係

照会先 システムデザイン研究科情報通信システム学域 教授 阿保 真 E-mail: abo@tmu.ac.jp Tel(042)585-8415

その他 募集の詳細は, 本学 Web ページ ([http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/tmu.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html)) を参照ください

### ■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 准教授または助教 いずれか1名

専門分野 システム工学分野 (制御工学, パワーエレクトロニクス, 電気自動車等)

学 科 目 システム工学, 情報基礎工学

担当科目 電気電子工学基礎, 電気回路, 情報システム基礎実験, システム情報工学実験等

応募資格 専門分野の研究業績があり, 以下の各項に該当する私学教育に熱心な方

1) 博士の学位を有する方または着任時までに取得可能な方, 2) 准教授は, 大学院の教育, 研究指導の可能な方. 助教は, これの可能な方が望ましい, 3) 実験や研究で実践的な学生指導ができる方が望ましい, 4) 教育歴のあることが望ましい

着任時期 2013年10月1日

提出書類 1) 履歴書 (学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), 2) 研究業績リスト (査読付き論文とその他の論文を区別すること, また, 外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること), 3) 主要論文別刷 (5編程度, コピー可), 4) これまでの研究概要と今後の研究計画, 5) 教育歴 (これまでの担当科目や役職, 教育改善の取り組み, オープンキャンパスなどでの展示, 出前講義などについてもあれば記載すること), 6) 教育に対する抱負 (本学科は, JABEE を推進しています) (1000字程度)  
\*紙での提出のほか, 電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください。ただし, 3) は除く

応募締切 2013年5月24日 (必着)

送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310

「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください

照会先 情報システム工学科 教授 吉田耕一

E-mail: k-yoshida@fit.ac.jp Tel(092)606-4991 (ダイヤルイン) Fax(092)606-0754 (学科事務室)

その他 本学は65歳定年です。また, 助教も独立した研究室を持ち, 研究費も配分されます

## ■岩手県立大学ソフトウェア情報学部・研究科

募集人員 准教授または講師・助教 1名  
 所属 ソフトウェア情報学部および研究科  
 専門分野 ビッグデータ、センサデータベース、ライフログ、Eコマースなどデータベースシステムに関連する教育研究分野  
 担当科目 学部・大学院の「基盤システム関連科目」ならびに講座内の演習指導および修論・博論指導  
 応募資格 次の条件を満足する方 ①上記の専門分野において博士の学位を有する方、または着任までに学位取得見込みの方、②大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方  
 着任時期 2013年10月1日（または9月以降可能な限り早い時期）  
 提出書類 ①履歴書（学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む）、②研究業績リスト（著書、学位論文、学術論文、国際学会発表論文等に分類）、③学位論文（コピー可）、④主要著書・学術論文別刷（コピー可）と学位取得証明書、⑤教育または職歴に関する業績および教育に関する見解（1000字程度）、⑥参考となる意見を伺える方2名からの推薦状と連絡先  
 応募締切 2013年5月31日（必着）  
 送付先 〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 渡邊慶和  
 「教員（データベースシステム）応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は返却いたしません  
 照会先 ソフトウェア情報学部事務室 E-mail: soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500（ダイヤルイン）  
 その他 選考にあたっては書類・業績審査後、面接を実施し決定します。選考結果は応募者ご本人に通知します  
 なお、応募者において業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献他）および人物の評価において同等と認められた場合には、男女共同参画を推進する立場から女性を優先しますので、女性研究者の応募を歓迎します

## ■岩手県立大学ソフトウェア情報学部・研究科

募集人員 准教授または講師・助教 1名  
 所属 ソフトウェア情報学部および研究科  
 専門分野 情報システムデザイン方法論、ソーシャルメディア応用、地理情報システム、社会調査手法など社会情報システムに関連する教育研究分野  
 担当科目 学部・大学院の「情報システム関連科目」ならびに講座内の演習指導および修論・博論指導  
 応募資格 次の条件を満足する方 ①上記の専門分野において博士の学位を有する方、または着任までに学位取得見込みの方、②大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方  
 着任時期 2013年10月1日（または9月以降可能な限り早い時期）  
 提出書類 ①履歴書（学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む）、②研究業績リスト（著書、学位論文、学術論文、国際学会発表論文等に分類）、③学位論文（コピー可）、④主要著書・学術論文別刷（コピー可）と学位取得証明書、⑤教育または職歴に関する業績および教育に関する見解（1000字程度）、⑥参考となる意見を伺える方2名からの推薦状と連絡先  
 応募締切 2013年5月31日（必着）  
 送付先 〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 渡邊慶和  
 「教員（社会情報システム）応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は返却いたしません  
 照会先 ソフトウェア情報学部事務室 E-mail: soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500（ダイヤルイン）  
 その他 選考にあたっては書類・業績審査後、面接を実施し決定します。選考結果は応募者ご本人に通知します  
 なお、応募者において業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献他）および人物の評価において同等と認められた場合には、男女共同参画を推進する立場から女性を優先しますので、女性研究者の応募を歓迎します

## ■群馬大学理工学研究院電子情報部門

募集人員 教授または准教授 1名（任期なし）  
 専門分野 情報科学・情報工学の主要分野  
 担当科目 理工学部電子情報理工学科および理工学府理工学専攻での教育・研究指導  
 応募資格 博士の学位を有し、上記専門分野に優れた研究実績があり、教育・研究に熱意のある方  
 着任時期 2013年12月1日以降できるだけ早い時期  
 応募締切 2013年5月31日（必着）  
 送付先/照会先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学理工学研究院電子情報部門 部門長 太田直哉  
 E-mail: ohta@cs.gunma-u.ac.jp  
 その他 提出書類など詳細はWebページ（<http://www.ei.st.gunma-u.ac.jp/recruit>）を参照ください

## ■福岡工業大学工学部電子情報工学科

- 募集人員 教授、准教授または助教 1名  
専門分野 電子工学関連分野（回路系、制御系、組み込み系、電子情報等の科目）  
応募資格 (1)博士の学位を有する方、(2)実験的研究に業績があり、教育経験のある方  
詳細は、Webページ ([http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin\\_kobo/index](http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/index))を参照してください  
着任時期 2013年10月1日（できるだけ早い時期）  
提出書類 (1)履歴書、研究業績リスト（様式のダウンロードサイト：<http://www.fit.ac.jp/elec/>）、(2)主要論文別刷（5編程度、コピー可）、  
(3)これまでの主要研究の概要と今後の研究計画（1000字程度）、(4)本学における教育ならびに学務に対する抱負（1000字程度）  
※論文別刷以外はCD等に保存した電子ファイルも同封してください  
応募締切 2013年5月31日（必着）  
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋  
「電子情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*提出書類は原則として返却いたしません。必要な方は申し出てください  
照会先 電子情報工学科 田中秀司 E-mail: s-tanaka@fit.ac.jp Tel(092)606-3570（ダイヤルイン）  
その他 本学では、助教も独立した研究室を持ち研究費も配分されます

## ■弘前大学大学院理工学研究科

- 募集人員 教授 1名  
所属 電子情報工学コース  
専門分野 コンピュータアーキテクチャまたは関連分野（コンピューティングシステム、プロセッサアーキテクチャ、マルチコア・メニーコア技術、ディベンダブルシステム、リコンフィギュラブルコンピューティング、オペレーティングシステム、コンパイラなど）、  
コンピュータシステムの基盤技術あるいは応用技術にかかわるソフトウェアもしくはハードウェアの分野の人材を求めています  
担当科目 コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム  
応募資格 博士の学位を有し、当該専門分野における研究業績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できる方  
着任時期 2013年12月上旬以降のできるだけ早い時期  
応募締切 2013年6月28日  
送付先/照会先 理工学研究科電子情報工学コース長 斎藤 稔 E-mail: msaito@eit.hirosaki-u.ac.jp Tel(0172)39-3656  
その他 提出書類など詳細は本校Webページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html>)を参照ください



【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.5】

■ Hyperaccurate Correction of Maximum Likelihood for Geometric Estimation  
Kenichi Kanatani 他

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.6 No.2】

■ Using Fault Injection to Analyze the Scope of Error Propagation in Linux  
Takeshi Yoshimura 他

**IPSJ MAGAZINE** Vol.54 No.5 (May 2013)

**CONTENTS**

**Preface**

**Information and Philosophy**  
Hiroki AZUMA (Author)

**Special Features**

**Combating for DoS Attacks**

- 426 **0. Foreword**  
Masato TERADA (Hitachi, Ltd.)
- 428 **1. Do You Know What DoS/DDoS Attack Is?**  
Masato TERADA (Hitachi, Ltd.)
- 436 **2.1 Observation Diary of DoS/DDoS Attacks (1) - Your Users Might Be Involved in DDoS Attacks -**  
Hiroki TAKAKURA (Nagoya Univ.)
- 445 **2.2 Observation Diary of DoS/DDoS Attacks (2) - Antinny DDoS Attack vs ACCS DDoS Defense -**  
Satoru KOYAMA (NTT PC Communications Incorporated) and Fuminori NAKAGAWA (Association of Copyright for Computer Software)
- 461 **2.3 Observation Diary of DoS/DDoS Attacks (3) - SSL Based DDoS Attack by Botnet PushDo -**  
Yoshitane TACHIBANA and Masato TERADA (Nippon CSIRT Association)
- 468 **3.1 DoS/DDoS Prevention (1) - Current Status and Issues for Combating DDoS Attacks at ISP -**  
Mamoru SAITO (Internet Initiative Japan Inc.)
- 475 **3.2 DoS/DDoS Prevention (2) - DDoS Attacks Evolution & Solutions -**  
Hiroshi KURAKAMI (NTT Secure Platform Labs.)
- 481 **3.3 DoS/DDoS Prevention (3) - Backscatter Analysis Based on Large-scale Darknet Monitoring -**  
Daisuke INOUE, Junji NAKAZATO, Masashi ETO and Koji NAKAO (National Institute of Information and Communications Technology (NICT))
- 488 **4. Activities of Telecommunications Carriers for Combating DDoS Attacks**  
Yoshiyasu NISHIBE (JADAC / NTT Communications Corp.)
- 497 **Column : Activities of National Police Agency for Combating DoS Attacks**  
Kensuke TAMURA and Takehiko NAKAYAMA (National Police Agency)

**Special Features**

510 **Annual Topics of Special Interest Groups of IPSJ**

**Airticles**

- 500 **Deep Learning for Pattern Recognition**  
Yotaro KUBO (NTT Communication Science Labs.)
- 528 **Exploring Limit of Computation - Its Significance and Scenario (No.2)**  
Takeshi TOKUYAMA (Tohoku Univ.)

**Senior Column : Messages on Favorite IT**

509 **High Impact Research**  
Mitsuru ISHIZUKA (The Univ. of Tokyo)

**Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's**

512 **Oral History : Interview with Dr. Miura Takeo**  
Hiroharu ASAHII (Hitachi, Ltd.), Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Osamu UDA (Nihon Univ.), Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

**"Peta-gogy" for Future**

- 519 **The Essence of Programming is an Elegant Enjoyment of the Free Spirits at Their Leisure**  
Ikuo TAKEUCHI (Waseda Univ.)
- 520 **Information and Communication Technologies in Education of Tokyo Metropolitan Tama High School of Science and Technology - Action Example of the SSH Designated School (Science and Technology Department) -**  
Tadashi HASEGAWA (Tokyo Metropolitan Tama High School of Science and Technology)
- 524 **Trends of School Public Relations in Japan**  
Shimpei TOYOFUKU (International Univ. of Japan)

540 Report from Student Members

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

# ご意見をお寄せください！

【5月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- (10) 今月号（2013年5月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：情報と哲学 ..... 10-1- [ ]
- 特集：DoS 攻撃
1. DoS/DDoS 攻撃とは ..... 10-2- [ ]
- 2.1 DoS/DDoS 攻撃観察日記 (1) ～DDoS は身内からもやってくる～ ..... 10-3- [ ]
- 2.2 DoS/DDoS 攻撃観察日記 (2) ～Antinny による ACCS サイトへの DDoS 攻撃～ ..... 10-4- [ ]
- 2.3 DoS/DDoS 攻撃観察日記 (3) ～ボットネット PushDo による SSL 接続攻撃を振り返って～ ..... 10-5- [ ]
- 3.1 DoS/DDoS 攻撃対策 (1) ～ISP における DDoS 対策の現状と課題～ ..... 10-6- [ ]
- 3.2 DoS/DDoS 攻撃対策 (2) ～高度化する DDoS 攻撃と対策 サイトの視点から～ ..... 10-7- [ ]
- 3.3 DoS/DDoS 攻撃対策 (3) ～ダークネット観測網を用いたバックスキャッタ分析～ ..... 10-8- [ ]
4. DDoS 攻撃に対する通信事業者の取り組み ..... 10-9- [ ]
- コラム：DoS 攻撃に対する警察の取り組み ..... 10-10- [ ]
- ディープラーニングによるパターン認識 ..... 10-11- [ ]
- IT 好き放題：インパクトある研究 ..... 10-12- [ ]
- 新年度企画：研究会活動紹介 ..... 10-13- [ ]
- 古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：三浦武雄氏インタビュー ..... 10-14- [ ]
- べた語義：コラム：プログラミングの本質は、閑暇における自由人の高尚な享楽 ..... 10-15- [ ]
- べた語義：東京都立多摩科学技術高等学校と情報教育 ..... 10-16- [ ]
- べた語義：学校広報と教育 ..... 10-17- [ ]
- 計算下界の解明（後編） ..... 10-18- [ ]
- 学生会員レポート：学会発表のすすめ ..... 10-19- [ ]
- [11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） ..... 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 12-3- [ ]  
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 DoS 攻撃：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，論文誌（トランザクション），国際会議，IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナー，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>	

US\$10

さて、何の数字であろうか？

この数字は編集にあたってのトピックの1つとして用意していたもので、DDoS 攻撃の商用サービスを1時間利用する際の利用料金です。2012年11月に、トレンドマイクロがロシアのサイバー犯罪者によるオンラインフォーラムから集めた情報をもとに公開した調査資料が情報源です。ここまでビジネス化が進んでいるサイバー攻撃に対処するためには、関係各位の協力により「守り方も多様に！」を実現していく必要があります。そのためには、まず、敵を知ることが必要です。そこで、第1弾として2010年3月の特集記事では『マルウェア』を取り上げ、第2弾となる2013年5月の特集記事では『DoS 攻撃』を取り上げることにしました。（原稿執筆と閲読に追われているときには、二度とやるものかと思うのですが）、今後とも、このような特集記事を通じてサイバー攻撃対策についての活動を少しでも皆様にお伝えできればと考えています。第3弾の特集記事は『ソーシャルエンジニアリング攻撃』、『脆弱性攻撃』……、『DoS 攻撃』の最後の閲読が終わって、ほっとしたひとときの勝手な想像です。

特集記事の第2弾になりますので、第1弾をテンプレートにして省力化を図っています。たとえば、編集にあたっての書き出しは同じになっています。どれだけの方が気が

つくのだろうか？と楽しみにしています。

(マルウェア) 15,427,539

さて、何の数字であろうか？

(DoS 攻撃) 700Mbps

さて、何の数字であろうか？

その一方で、余裕を持って組んでいたはずのスケジュールは、原稿締切の頃にはかなりタイトになっていました。2012年12月末の初稿原稿締切に集まった原稿はわずか2件、2013年2月末の閲読済み完全原稿締切に間に合った原稿もわずか2件、3月上旬からの事務局での原稿レイアウト作成を始められるわけもなく、締切を過ぎた頃から、著者の方々とともに原稿作成に向けてのラストスパートが始まりました。2月21日 18%、3月4日 27%、3月8日 45%、3月11日 63%、3月13日 閲読済み完全原稿 100%。スケジュールを見ますと、3月10日～18日頃に著者校正、3月22日頃にエディタ最終確認、『ということは、まだ余裕があるじゃないか』と思いつつ、事務局の皆さん、編集委員の宮崎邦彦さんは、ヒヤヒヤしながら様子をうかがっているのだろうかと感じていました。今回、無事発行に至ることができたのは、関係者の皆さんが温かく見守ってくれていたことにつきます。事務局の皆さん、宮崎邦彦さん、本当にありがとうございました。

(寺田真敏/本特集ゲストエディタ)

## 次号 (6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 「特集」実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用

人間行動センシングから認識自動化を目指して／大規模行動センシングデータベース HASC corpus とその応用 (仮)／ウェアラブルセンシングの実世界応用 (仮)／スマートフォン行動情報収集と看護行動センシング／携帯機器の帯同場所のセンシング—このデータはどこから来たのか？—／装着型センサを用いた運転者行動センシング／スマートフォンを用いた生活行動認識—家の中も外もスマホで行動認識—／携帯電話を用いた行動認識技術—スマートフォンで広がる行動センシング—／スポーツ行動センシング—位置と加速度の計測から運動状態を知る—／コラム 1. 大規模行動センシングのための情報圧縮技術—圧縮センシングの応用事例—／コラム 2. 行動センシング総合ツール HASC Tool

解説：最先端医療を実現する生体内外センサネットワーク技術—生体に低侵襲で高信頼な医療のために—……杉本千佳 他  
 バグのないソフトウェアを目指して：近年のプログラム検証の研究と現実への適用……寺内多智弘  
 日本におけるスマートグリッドの動向……林 泰弘  
 マルチコアプロセッサの動向とこれから (前編) ……西村 亨 他

連載：古機巡礼／二進伝心

教育コーナー：ぺた語義

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 23,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」54巻5号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …………… 表4                       サイエンス社 …………… 目次前  
 オーム社 …………… 表2対向                       リード エグジビション ジャパン …………… 同封

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (51口～)

# HITACHI

## Inspire the Next

(株) 日立製作所

### ●●● 賛助会員 (20～50口)

# FUJITSU

富士通 (株)

# NEC

日本電気 (株)

# MITSUBISHI

*Changes for the Better*

三菱電機 (株)

# TOSHIBA

(株) 東芝

# IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10～19口)

# Google

グーグル (株)

# GREE

GREE (株)

# docomo

(株) NTT ドコモ

# NTT

日本電信電話 (株)

# Microsoft

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3～9口)

# NTT Data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

# OKI

沖電気工業 (株)

# 楽天

楽天 (株)

# JISA

情報サービス産業協会

# uejima

(株) うえじま企画

# SANBI

三美印刷 (株)

# Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

# Plat'Home

ぶらっとホーム (株)